

平成27年度弁理士試験論文式筆記試験問題

[著作権法]

小説家**甲**は、小説**α**を執筆し、出版社**乙**に対して**α**の出版に関し包括的な著作権を設定した。**乙**は**α**を出版した。これを前提に、以下の問いに答えなさい。

- (1) **丙**は、利用客から送付された書籍を裁断してスキャナーで読み取り、電子データを作成し、これを利用客に納入する業を営んでいる。裁断された書籍は、電子データ作成後、処分されている。**丙**は、利用客から送付された**α**の書籍を用いて電子データを作成し、その電子データを当該利用客のメールアドレスに送信した。著作権法上、**丙**に対して誰がいかなる請求をなしうるか。
- (2) 中学校の国語科検定教科書に**α**の一部が掲載された。出版社**丁**は、当該検定教科書に準拠する国語テスト**β**を出版している。**β**は、中学校の期末試験等での利用を想定したものである。**β**には、当該検定教科書に掲載された**α**の一部を用いたテスト問題が掲載されている。著作権法上、**丁**に対して誰がいかなる請求をなしうるか。
- (3) 時を経て、**甲**の死亡後、未亡人**戊**は**α**の著作権を**乙**に譲渡した。**甲**のファンである**己**は、**α**に描かれた設定を時代に適合させるため、**α**のストーリーの一部を変更した小説**γ**を作成し、**γ**を自己の開設するウェブサイトに掲載した。著作権法上、**己**に対して誰がいかなる請求をなしうるか。

【100点】